

(2022.12)
(情報公開文章用)

作成日 2026 年 6 月 9 日
第 1 版作成

2010 年 1 月 1 日~2026 年 5 月 31 日の間に 当科において前胸部の突出（鳩胸）

のため外来診察を受けられた方及びご家族の方へ

—「鳩胸患者の胸郭形態学的特徴と治療方針」へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学小児外科学 准教授 吉田篤史

研究分担者 川崎医科大学小児外科学 教授 曹英樹

川崎医科大学小児外科学 講師 久山寿子

1.研究の概要

鳩胸は前胸部の突出を特徴とする珍しい胸の形で、子供から思春期にかけて明らかになってくることが多いです。生命予後には直接影響しませんが見た目の問題から心理社会的影響を生じるため、治療が必要となることがあります。本疾患は珍しいため現在でも重症度の評価方法や治療の適応に関する統一されたガイドラインは存在していないため、施設ごとの方針で治療されています。

この研究では、当院小児外科において 2010 年 1 月 1 日から 2026 年 5 月 31 日までに鳩胸を主訴として受診された患者を対象に、診療録および画像検査所見を用いた後方視的観察研究を実施します。対象患者さまの年齢、性別、受診契機、合併疾患、身体所見、胸部単純 X 線検査や CT 検査等の画像所見、胸郭形態の特徴、治療内容および経過について収集し、前胸部突出の程度や形態の特徴を評価して、どのような症例に対して治療が選択されているかを検討することで将来的な重症度評価法の標準化や治療適応基準の確立できるよう基礎的データを得たいと考えています。

2.研究の方法

1) 研究対象者

2010 年 1 月 1 日~2026 年 5 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院小児外科外来において前胸部の突出（鳩胸）の診察を受けられた方約 110 名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日~2027 年 5 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において前胸部の突出（鳩胸）のため外来診察を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに胸郭形態を胸部レントゲン検査、あるいはCT検査で評価し、に関する分析を行います。

4) 使用する情報の種類

情報:年齢、性別、手術記録、画像情報等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学小児外科学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等(父母(親権者)、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人)を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2027 年 2 月 28 日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 小児外科

氏名:吉田篤史

電話:086-462-1111 内線 26511(平日:8 時 30 分~17 時 00 分) ファックス:086-464-1192 E-mail:ped surg@med.kawasaki-m.ac.jp

3.資金と利益相反

本研究は学内研究費を用いて行います。

研究をするために必要な資金をスポンサー(製薬会社等)から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。